

令和6年度事業計画書

一般財団法人福井県産業会館

基本方針

新型コロナウイルス感染症もほぼ収束し、景気回復が本格化する一方、円安等によるエネルギー、原材料のコストアップなど企業収益を圧迫する要因は継続しており、併せて中国の景気低迷や国際紛争の拡大などの懸念もあり、国内経済の先行き不透明な状況が続くものと考えております。

特に昨年度の電気料金や燃料（灯油）価格の上昇は、各種製品・サービス全般にわたるコストアップに繋がっており、今年度も両施設を取り巻く事業環境には引き続き厳しいものがあると思われまます。

一方、県内では、本年3月16日に北陸新幹線福井・敦賀が開業し、昨年来、官民連携による本県の魅力の全国発信、おもてなし機運の向上、ヒトやモノの流動促進を図る二次交通の拡充などに向けた様々な取組みが進められてきています。

こうした中、当財団としては、引き続き、顧客目線に立った提案型の対面営業を展開し、新たな顧客の掘起しや催事の複数回利用の働き掛けとともに、北陸新幹線福井・敦賀開業に伴う関連催事の取込みなどに取り組んでまいります。

更に、地元の行政・経済界等の協力を得て、産業人材の育成にも繋がる自主企画事業を実施するほか、HPやSNS等による情報発信の強化に努め、元気な産業の振興と地域の活性化への貢献に努めてまいります。

また、利用者・来場者の方々の様々なご意見・ご要望を丁寧に対応し、効率化、サービス向上と合せ、安全・安心・快適に利用いただき、顧客満足度を最大限に高めてまいります。

とりわけ、省人化・省エネ投資をはじめ、来場者の方が心地良く、長く施設に滞在できることを目指した施設設備の機能向上、障がい者・高齢者等に優しい施設づくりなどに重点を置いた施設の管理運営を進めてまいります。

I 福井県産業会館・サンドーム福井の管理運営事業

1 両施設共通項目

(1) 営業活動

催事開催状況がコロナ禍前の水準まで回復していることから、引き続きリピーター中心としつつ、新規利用者の開拓にも心掛け、次のとおり顧客満足度の向上を第一とした営業活動を進めます。

- ・ 営業戦略会議において、タイムリーかつ効果的な営業方法を検討し、役職員全員が会議での協議結果と毎週の営業報告を情報共有して、両施設一体となった営業に取り組みます。
- ・ 重要なリピーターへの積極的な訪問活動や情報交換に注力するとともに、リピーター・新規を問わず、利用ニーズを十分に把握し、適切な利用方法等を親切かつ丁寧にサポートする提案型営業を行います。
- ・ 北陸新幹線福井・敦賀開業に関連する全国規模の催事利用を取り込むため、県市町や各種団体等への情報収集と誘致営業に努めます。

特にサンドーム福井では、施設アクセスが大きく変化することから、丁寧な情報発信や関係機関との協力により利便性の確保に努めます。

- ・ 関係情報誌等を活用して、全国巡回展示会やイベント、季節展示会等をはじめ当施設での開催可能性がある催事情報を整理し、DM（ダイレクトメール）による営業を展開します。

(2) 施設の維持管理

- ・ 省人化・省エネ投資、施設設備の機能向上、障がい者・高齢者等に優しい施設づくりなどに重点を置き、安全・安心・快適で使い勝手の良い、清潔な施設環境を整えます。
- ・ 「施設が商品」という認識の下、経年劣化に伴う建物の機能低下を最小限度に留めるため、経費平準化を図りつつ、施設設備の予防修繕・計画的更新を進めます。
- ・ ファイアウォール構築による情報セキュリティ強化や、通信障害を最小限に抑えるシステムの高度化、利用申請や請求手続き等の電子化、電子決裁システム導入による業務効率化等を通じ、管理運営事務のD

X化を進めます。

- ・産業会館においては、前期に着手した来場者の憩いの場となる園地整備を継続します。また、両施設において、前期の「省エネ診断」での提案に基づく施設設備の整備等に取り組みます。
- ・両施設の空調（冷暖房）については、デマンド監視装置を利用しつつ、利用者の意向を踏まえ、適切に運用することにより、消費電力量等の節減に努めます。
- ・委託業務について、職員で実施可能なものは極力直営化を図るとともに、物品購入業務等については、前期に導入した「郵便入札制度」を活用し、入札事務の効率化と入札参加者の負担軽減を図ります。

(3) 情報発信力の強化

- ・ホームページ（以下「HP」という。）については、北陸新幹線福井・敦賀開業に併せて、施設へのアクセスなど、HP関連箇所を迅速かつ集中的に改正し、利用者の利便性向上に努めます。
- ・HPを活用し、利用者や来場者が知りたい最新イベントや会館利用情報等を分かりやすく、迅速に提供するとともに、X（旧ツイッター）により、リアルタイムで催事情報やお役立ち情報を提供します。

(4) 産業観光の情報提供

本県の産業観光情報の発信に向け、福井県、デザインセンター、県観光連盟、県物産協会、県内企業等と連携し、次の取組を両施設で実施します。

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業に伴って新たに制作されたポスターの掲示やパンフレットの配置、観光PR動画の上映、HPでの近隣催事の紹介などを行い、来場者に最新の観光情報を発信します。
- ・市町の観光ポスターの掲示や観光パンフの配置、伝統工芸品などで構成する展示を定期的に入替え、観光地・県産品の紹介を継続します。
- ・全国大会やコンサートなどの機会には、施設内に県産品の販売所や県観光地の紹介コーナーを設けるなど、県内企業、工芸産地、観光地のPRに協力します。

(5) 職員の育成等

- ・法令改正への対応など業務遂行力向上のための研修や健康維持のための研修を開催するほか、資格取得支援制度の活用により、施設運營業務に有益な資格の取得を目指す職員を応援します。
- ・全国会議や多人数の来場イベント時における災害等不測の事態発生に備え、実践的な内容で来場者の安全を確保するための研修（地震、豪雨等大規模災害対応）を実施します。

(6) その他

- ・前期に続き、「健康経営優良法人 2024」の認定を受けたことを踏まえ、関係機関の協力を得て、職員の健康管理や健康増進に向け、健康づくり宣言に掲げた各取組を役職員が協力して推進します。

2 個別施設の状況

(1) 福井県産業会館

ア 利用目標

- ・コロナ禍により大きく減少した施設利用は、感染収束に伴い、令和3年度以降、自治体会議、食品見本市、住宅リフォームなどで回復傾向にあるものの家電製品展示、飲食イベントなどは減少しています。
- ・今後の利用確保に向け、福井市内に立地する地理的優位性と無柱空間の展示場の特長を活かした営業を継続するとともに、北陸新幹線福井・敦賀開業後の関連イベント等の取込みに向け、関係機関への働きかけを強めます。
- ・比較的利用が少ない平日利用を増加させるため、企業が企業にモノやサービスを提供するB to B展示会等の誘致や福井市外の新規利用者の掘起しを継続します。
- ・新規利用者への積極的な提案・誘致だけでなく、催事開催時の行き届いたサービス提供により、新規利用者をリピーターとして獲得し、収益確保につなげ、減少傾向にあるイベントの影響を最小限に留めます。

- ・前期は長期間の博覧会、全国大会など例年にはない大型イベントが多数開催され、利用率と収益が高くなりました。今期は同様の利用は見込めないものの北陸新幹線福井・敦賀開業の追い風の中、前期（目標）と同程度の利用日数、事業収益を目指します。

（目 標）	今期見込み	（前期当初見込み⇒前期実績見込み）
利用日数		
1号館展示場 ……	220 日	（220 日⇒256 日）
2号館展示場 ……	220 日	（220 日⇒238 日）
本館展示場 ……	155 日	（155 日⇒195 日）
多目的ホール ……	165 日	（165 日⇒190 日）
	今期見込み	（前期当初見込み⇒前期実績見込み）
事業収益	140,000 千円	（140,000 千円⇒160,536 千円）

イ 施設等の管理

- ・施設設備を安全・安心・快適に利用いただけるよう、法令に基づく定期点検の的確な実施はもとより、施設等の長寿命化対策も視野に入れ、次のような工事等を計画的に進めます。

（主な修繕工事等）

- 吸収式冷温水機バーナー整備（3,700 千円）
- 自動シャッター制御機器（4,000 千円）
- 全館防火扉順位調整等（3,900 千円）
- 外構〈植栽園地、ベンチ、パーゴラ等〉整備（10,000 千円）
- 監視カメラ増設（3,000 千円） など

ウ 情報発信

- ・引き続き、HPについては利用者の意向を尊重した丁寧な打合せを通じ、開催前からイベントの具体的内容を、SNSではX（旧ツイッター）により、リアルタイムで催事の状況を発信し、多数の来場を促します。

(2) サンドーム福井

ア 利用目標

- ・イベントホールについては、コンサートのほか第 47 回全国育樹祭や全国法人会連合会大会などの利用が見込まれますが、県による大規模施設修繕工事に伴う利用への影響、利用者側のコスト削減のための利用時間

短縮による減収や、コロナ禍の休止から再開されていないイベントもあります。

そのため、新規利用者のリピート利用はもとより、大学生による研修利用や地元企業の福利厚生事業での利用再開を働き掛けます。

- ・小ホール・会議室等については、セミナーや研修会などによるコンスタントな利用が見込めるものの、ウェブ会議の普及等による減収も懸念されるため、DM営業を通して、県内外の各種団体・企業による小規模な集会・展示会などの新規利用開拓に努めます。

((目標))		今期見込み	(前期当初見込み⇒前期実績見込み)
利用日数	イベントホール・・・	160日	(180日⇒188日)
	小ホール・・・	130日	(130日⇒138日)
		今期見込み	(前期当初見込み⇒前期実績見込み)
事業収益	146,348千円		(164,680千円⇒160,392千円)

イ 施設等の管理

- ・安全・安心・快適な利用に向け、法令・指定管理仕様書に基づく定期点検、設備・備品の適時の更新、施設の長寿命化・老朽化に伴う小規模な修繕工事などを的確に実施し、適切な維持管理に努めます。
- ・施設の安定的な稼働に関わるものの、指定管理者では実施できない大規模な設備修繕が適切に実施されるよう、修繕が必要な箇所について、県への迅速な情報提供を行います。

((主な修繕工事等))

照明LED化(複数箇所の修繕交換工事)	(2,000千円)	
消防設備(複数箇所の機器交換等工事)	(1,000千円)	
電気・空調設備(複数箇所の機器交換工事)	(2,000千円)	など

- ・令和6年度中に県の大規模施設修繕工事(照明・空調・音響)が予定されていることから、収益の確保を図りつつ、施工期間の調整や円滑な工事進捗に協力します。

ウ 自主企画事業

- ・地域に賑わいを創出し、親しまれる身近な施設を目指し、県、市町、地元企業、関係団体や学校等と協力して、地域産業を振興するイベントや地域への感謝を表すイベント等を実施します。

《実施予定の自主企画事業》

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 「おもしろフェスタ in サンドーム福井 2024」 | 開催予定期日:8月 |
| 「スポカルFUKUI2024」 | 開催予定期日:12月 |
| 「サンドーム福井地域感謝イベント 2024(仮)」 | 開催予定期日:1~2月 |

エ 情報発信

- ・HPやX（旧ツイッター）を活用し、引き続き、イベント時の駐車場（空き状況）情報や、天候・交通情報、観光・グルメなどのお役立ち情報提供を継続します。
- ・北陸新幹線福井・敦賀開業により、施設へのアクセス経路が大きく変わることから、最寄り駅までの乗換え方法などについて、動画を活用し、分かりやすく情報提供します。